

2021 年度事業報告

2022 年 3 月 31 日
特定非営利活動法人
市民 ZOO ネットワーク

1. 環境エンリッチメント推進事業

●エンリッチメント大賞

第 20 回エンリッチメント大賞の企画運営を実施した。実施経過は以下のとおり。

- ・後援：(公社) 日本動物園水族館協会
- ・募集期間：2021 年 5 月 1 日～6 月 30 日
- ・応募結果：応募総数 35 通 (29 件の取り組みに対し)
- ・審査方法：下記 5 名の有識者による審査委員会を構成した。書面による一次審査を通過した受賞候補に対して、事務局による現地調査をおこなったうえで、審査委員会を開催 (9 月 18 日) して二次審査をおこない受賞者を決定した。
- ・審査委員会：岩田 恵里 氏 (岡山理科大学獣医学部教授)
川端 裕人 氏 (作家)
幸島 司郎 氏 (京都大学名誉教授)
佐藤 衆介 氏 (東北大学名誉教授／八ヶ岳中央農業実践大学校畜産部長)
本田 公夫 氏 (元 Wildlife Conservation Society 展示グラフィックアート部門スタジオマネージャー) ※五十音順
- ・審査結果：2 件
 - ▼大賞 動物園全体の動物福祉向上のための体制整備 (京都市動物園)
 - ▼奨励賞 オオツノヒツジの生態展示とその検証 (横浜市立金沢動物園)

●エンリッチメントに係るコンサルティング

動物園等の施設を対象としたコンサルティングは、特に実施しなかった。

●エンリッチメントに係る調査研究、情報提供

エンリッチメントに関する情報収集や、マスコミ等への情報提供を随時実施した。特に 2022 年 2 月 26 日の動物園研究会では、以下の通り話題提供を行なった。

- ・演題：エンリッチメント大賞の歴史から見る日本の動物園と動物福祉
- ・演者：綿貫宏史朗
- ・方式：オンライン会議システム zoom

●エンリッチメント大賞 2021 表彰式・受賞者講演会

「エンリッチメント大賞 2021 表彰式・受賞者講演会」を実施した。詳細は以下のとおり。

- ・日時：2021 年 12 月 4 日（土） 13：30～15：30
- ・方式：オンライン（YouTube 配信）
- ・主催：NPO 法人 市民 ZOO ネットワーク

エンリッチメント大賞 2020 表彰式・受賞者講演会 実行委員会

- ・プログラム
 - －開会挨拶：岩田恵里さん（岡山理科大学獣医学部教授）
 - －概要説明
 - －表彰式・審査委員講評・記念撮影
 - －一次審査通過した取組みの紹介動画（6 園館）
 - －受賞者記念講演：横浜市立金沢動物園、京都市動物園
 - －受賞者&審査委員のパネルディスカッション
- ・特別企画など

エンリッチメント大賞 20 回を記念し、次年度より「正田賞」を導入することを発表。これに合わせて、審査委員の川端裕人さんと本田公夫さん、そして東京動物園協会の日橋一昭さんを迎えた座談会動画をプログラム終了後に公開した。

一次審査通過の取組みのポスター発表の特設ページを開設し、それらの取組みの PR 動画も上映した。また、オンライン決裁型の寄付ページを開設し、寄付者には 2021 年のオリジナルカレンダー（画像）をダウンロードできるようにした。

※実行委員会について：エンリッチメント大賞スタッフグループを中心に実行委員を務めたほか、当日ボランティアなども募り、約 10 名で実行委員会を組織した。

2. 動物園等に関する調査研究事業

●動物園等に関する調査・研究

動物園関連情報の収集・公開や情報提供をおこなった。

- ・動物園関係書籍、パンフレット、会誌、論文等各種の資料を収集
- ・WEB サイトや Facebook での動物園や研究会情報等の提供

●動物園等に係る各種協力・助言

動物園等の施設を対象とした協力や助言は、特に実施しなかった。

●各種団体との連携

動物園関係のイベントや研究会・出版その他の情報について、広報協力等による連携をおこなった。

3. 動物園等に関する普及啓発事業

●セミナー、勉強会、ワークショップ

市民 ZOO ネットワーク主催のセミナーを以下のとおり開催した。

- 1) 市民 ZOO ネットワーク クロストーク「ファンが動物園水族館の動物のためにできること」
 - ・2021 年 6 月 26 日（土）、オンライン（zoom）にて開催

- ・ゲスト：荒井雄大（盛岡市動物公園 ZOOMO）×岡部光太（京都市動物園）

●情報発信

1) ニュースレター

- ・ニュースレターを2回（第51号、52号）発行した。
- ・第51号発行（2021年4月）（特集その1：エンリッチメント大賞2020表彰式・受賞者講演会開催報告、その2：動物福祉向上には社会の理解がまず必要 動物園・水族館からの発信を！）
- ・第52号発行（2021年10月）（特集その1：エンリッチメント大賞2021発表！、その2：ボランティアという生き方）
- ・以上を市民 ZOO ネットワーク正会員およびサポーター（正会員20名、サポーター192名、2022年3月31日時点）、全国の主要な動物園・水族館（約170園館）、その他関係者に送付した。

2) メールニュース

- ・電子メール版を月1回配信した

3) WEB サイト／Facebook ページ

- ・トピックス、動物園関連研究会情報など随時更新し、情報提供をおこなった。

4) 取材対応等

動物園等に係る取材に対応した。

5) その他

新規の著作物発行等は、特になかった。

●講演

2021年度は特に実施しなかった。

4. 人材育成事業

動物園等に関心を有する学生等に対して適宜情報提供等をおこなった。なお、研究会等への参加にあたっての交通費補助はコロナ禍により実施できなかった。